

兵庫県公館



所在地：兵庫県神戸市中央区下山手通4丁目4番1号
 延床面積：9,498.7㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地下2階 地上3階建
 施工監理：兵庫県企画県民部管理局管財課
 更新完成：平成21年

兵庫県の迎賓館・県政資料館として活用されている歴史的文化遺産「兵庫県公館」。
 展示室の照明を電球形LEDランプ（〔イー・コア〕LED電球）に交換し、
 大幅な省エネ・CO₂削減が図られています。

迎賓館と県政資料館の機能を併せ持つ国の登録有形文化財「兵庫県公館」

兵庫県公館は、明治35年に兵庫県本庁舎として建設され、永きにわたり県政の歩みを刻んできました。完成した当時は、中庭を中心とする回廊式が特徴であるフランス・ルネサンス様式の建築物としては、規模・優雅さともに日本一の名声を博していました。

現在は迎賓館と県政資料館として活用されており、国内外の賓客との会議やレセプションに使われるとともに、県政の歩みや兵庫の姿、県ゆかりの芸術家の作品などが展示されている8つの展示室を設けています。このうち展示室1（兵庫の歩み）、展示室2（兵庫の魅力）、展示室6（兵庫初物語）等の5つの展示室の照明をLED電球に更新し、大幅な省エネ、CO₂削減が図られています。

省エネ・CO₂削減のモデルケースを目指してLED照明を登録有形文化財である県公館に率先的に導入

県政の歩みや兵庫の姿等を紹介する県政資料館に設けられている展示室のこれまでの照明は、スポットライトに85Wハロゲン電球90灯が使用されていました。このハロゲン電球を消費電力が小さく、長寿命の電球形LEDランプ（〔イー・コア〕LED電球）ミゼットレフ形白色相当60Wクラス（消費電力5.3W）65灯に交換したことにより、展示室への適切な明るさを確保しながら消費電力年間2万4,854kWhを削減し、二酸化炭素は年間9.1トンの節減を実現しています。

また、LED照明は熱線や紫外線がほとんどないため、貴重な美術品や展示品の劣化を低減する効果を発揮。そのため、展示品近くにも設置可能にしているとともに、約2万時間の長寿命でランプ交換の手間も大幅に軽減しています。

兵庫県は、近い将来照明の主役として期待されているLEDを、国の登録有形文化財に登録されている「兵庫県公館」に率先的に導入したことで、省エネ化、CO₂削減へのモデルケースとして、他の既存ビルや住宅への波及効果が得られることを目指しています。



展示室1（兵庫の歩み）のスポット照明 壁面展示品や展示ケースへはライティングレール用〔イー・コア〕LED電球60Wクラススポットライトで照明



展示室2（兵庫の魅力）のスポット照明



壁面パネル展示のスポット照明



展示室6（兵庫初物語）のスポット照明



展示ケースのスポット照明

主な照明器具一覧				
設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
展示室	スポットライト	LEL-SL5N-F/2	65	LED電球 消費電力：5.3W